

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 10

2016 No.745

## 3 はじめの言葉

### 4 大東京の大迷走にみる

マネジメント能力の貧困

田原文夫

世界的な大都市のひとつである東京が大揺れに揺れている。地方創生を言い、担当相まで配しながら、何たる体たらく。まさに危機感がない。それとも東京は地方ではないのか。これだけの人口が集中し、規模の経済性を持った東京でありながら、マネジメントが全くできていなことを世界中に晒してしまった。文字通りの「恥さらし」となっている。関係者による「目先の利益／モノトリ闘争」あるいは「おちょうだい／タカリ」体質が滲み出ている背景が見える。薄っぺらな政治政策を掲げるだけの選挙戦には、日本の国家／地方運営の展望を感じられない。

## 10 情報社会を考える その73

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

東京都／五輪組織委員会炎上

本編先月号でも触れたが、四年後の東京オリンピックをめぐる建造物建設にまつわる疑念から、東京都が関与する東京卸売市場建設問題にまで問題が発展、小池新東京都知事の指示の元に進められている「精査」作業で、更に様々な疑念／疑惑が出てきている。まさに、地下から汚染水が湧き出てきたが如くである。それもそのはず、豊洲の建設地の汚染土壌を浄化するために専門委員会答申に従い行われた(はずだった)盛り土処理が、実際には盛り土されておらず、すなわち汚染土壌の上に市場関連建物が建造され、あろうことか、建物の下に秘密の地下空間(地下室)があったからである。二重三重に疑念／疑惑が湧くこととなった。

## 12 オープンガバメント OG 34

情報社会をすすめる その68

水田 浩

1990年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALISの一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つのCALISという概念(言葉)で1995年から2005年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

## 19 連載 アーキテクチャ論 (66)

### システム思考と CONOPS

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報科学研究科 教授

連載 59 回[1]では、Boardman のコンセプトゴン (Conceptagon) について紹介した [1,2,3]。今回は、Frittman と Edson[4]によるシステム思考を用いた CONOPS 開発方法論について説明しよう。また、EA 手法との関連についても述べる。まず、CONOPS について説明する。

## 29 連載 日本再生と人材育成

### 人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その21

続【緊急特別編】

「人口減少／少子高齢化時代の最大の敵は戦争」

#### 立憲主義 (その5)

Dr.ベスト

昨年は第二次世界大戦 (太平洋戦争) の終戦から 70 年に当たる節目の年であった。赤紙一枚で戦場に派遣され命を落とした軍人は約 200 万人、一般の人は約 100 万人合わせて約 300 万人もの人が犠牲になっている (当時の人口の約 3%)。その戦争の影響は中国やアジアを中心として、この戦禍で犠牲になったのは 2000 万人以上とも言われている。欧米などを含む第 2 次世界大戦全体の犠牲者の総計は、5000 万~8000 万人とされる (8500 万人とする統計もある)。当時の世界の人口の 2.5%以上が被害者となった (含む**飢饉**や**病気による死者**)。人口減少／少子高齢化時代の今日において、貴重な人材 (特に若い世代) が二度と 70 年前に経験したような悲惨で無意味な戦争の惨禍に巻き込まれることのないようにしなければならない。

## 39 IT 新時代とパラダイム・シフト

### 第83回 AI (人工知能) は

#### IA (知能増幅) を目指す時代へ

根本忠明

今年 3 月に AlphaGo が人間に勝利したことで、AI ブームは過熱シバブルの様相を呈している。マスコミの話題は、人間の知性を超えた AI (?) が、人間を知的職場からも駆逐するというシナリオで溢れている。現段階では、時期尚早とあってよい。実際の AI 研究の関心事は、マスコミのとは別方向にある。1 つは、完全情報ゲームの頂点である将棋・囲碁から、不完全情報ゲームのポーカーや人狼などへ挑戦である。2 つは、人間と AI が優位を競うから、人間と AI が協働する IA (知能増幅) を模索する方向である。IA を目指す実践は始まったばかりであるが、今後期待される分野である。

## 43 続インテリジェンスへのいざない 81

### 豊洲新市場問題が飛び火した五輪施設費の疑念

今井 武

豊洲新市場への移転延期で大騒ぎ。そこへ、早急な施設建造工事を迫る森オリンピック組織委員会会長の一言。これがヤブヘビ。新都知事は、五輪施設工事費全体の精査も指示、次々に森会長の関連する施設の問題点が浮上してきた。都民目線の情報公開に期待が集中している。

## 46 連載 四字熟語力トレーニング

すぎやまちヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリニティ 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛準備心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2015年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの(得)広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向選別	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開港法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなメンバー
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港場建設とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働時の二 安定期間と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)